

(18) 大学改革戦略会議

① 設置の趣旨（目的）及び組織

ア 組織設置の趣旨（目的）

大学改革戦略会議は、教育研究評議会の専門委員会として、従前の大学改革推進委員会の機能を引き継ぎ、上越教育大学における教育及び研究等の機能強化に向けた戦略及び将来構想等の策定を目的に令和3年4月に設置した。

イ 組織の構成及び構成員等

大学改革戦略会議は、学長を議長として、教育研究評議会評議員及び学長が指名した者若干人から組織することとしており、令和4年度は評議員19人の構成とした。

② 運営・活動の状況

ア 大学改革戦略会議の開催状況

令和4年度は、次のとおり5回開催した。

令和4年 4/6(水)、6/1(水)、7/6(水)、9/7(水) / 令和5年 2/22(水)

イ 審議された主な事項

令和4年度の主な審議事項は次のとおりであった。

- i) 学校教育学部における履修上のコース・領域の再編の方向性
- ii) 学校教育実践研究センターの発展的整備の方向性
- iii) 独立行政法人教職員支援機構における地域センター事業への申請
- iv) 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定
- v) 上越教育大学における教学マネジメントの構築

ウ 重点的に取組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

議長である 林 学長 主導の下、特に以下の事項を中心に検討を重ね取りまとめるなど対応を行った。

- i) 学校教育学部における履修上のコース・領域の再編の方向性
令和6年度からの学校教育学部における、大学院への接続を考慮した、履修上のコース・領域の再編の方向性をとりまとめ、文部科学省との相談を行った。
- ii) 学校教育実践研究センターの発展的整備の方向性
学校教育実践研究センターを発展的に整備、機能強化する方向で、令和5年度概算要求（教育研究組織改革分（組織整備））を行うべく、概算要求に係る調書の策定等のため、学長の下にプロジェクトチームを設置し、「学校教員養成・研修高度化センター」整備構想としてまとめ、概算要求を行った。
- iii) 独立行政法人教職員支援機構における地域センター事業への申請
教職員支援機構における地域センター事業への令和5年度からの採択を目指し、申請に向けた事業計画等を検討するため、学長の下にプロジェクトチームを設置し検討を進めた。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

ア 優れた点

上述②のウの i)、ii) に記載のとおり、林学長主導の下、文部科学省と複数回の相談を行いながら、限られた期間での検討と取りまとめを進め、i) 学部のコース・領域の再編に関しては文部科学省の了解を得ることができ、また ii) センターの発展的整備に関しては、ほぼ要求どおりの示達を得ることが

できたことは、優れた点として挙げられる。

イ 今後の検討課題

上述②のウの iii) に記載した地域センター事業への申請に関しては、教職員支援機構における令和 5 年度の公募が行われなかったことから、次年度の申請に向け引き続き検討を進めていく必要がある。